

令和 6 年度研修会 「一般廃棄物の持続可能な適正処理に向けて」 開催

広島県環境保全事業協同組合

令和 6 年 7 月 24 日(水)に広島国際会議場「ヒマワリ」にて令和 6 年度研修会「一般廃棄物の持続可能な適正処理に向けて」を開催。

川村広晶理事長の開会挨拶に続き、来賓挨拶を環境省 中国四国地方環境事務所 資源循環課 課長 石川泉様、広島県議会議員 山下守様、広島県環境県民局 環境担当部長 岡田誠司様よりいただいた後、午後 1 時 50 分より講演がスタートした。

今回の研修会へは広島県、市町行政担当課関係部署はもとより、東京、愛知、大阪、鳥取、福岡、佐賀、長崎、熊本、宮崎、鹿児島県の 1 都 1 府 9 県より事業者の皆さまにも多数ご参加をいただき、研修会講演内容に対する関心の高さに改めて驚かされる結果となった。

講演後には三井隆司副理事長より当組合組織の概略と今後の公衆衛生向上の推進の為の官民一体となった、連携・協力について挨拶があり、午後 4 時 30 分閉会した。

【第 1 部講演】「官民連携とウォーターPPP の最新動向について」

国土交通省 水管理・国土保全局 上下水道企画課 管理企画指導室 課長補佐 原澤 貴史 様

◆下水道分野におけるウォーターPPP ガイドライン(令和 6 年 6 月 28 日開催「下水道における新たな PPP/PFI 事業の促進に向けた第 36 会検討会」)1.1 版を事前に寄せられた質問に触れながら説明いただいた。



【第 2 部講演】「廃棄物処理法の基本を踏まえたこれからの一般廃棄物の適正処理の推進について」

一般社団法人全国清掃事業連合会 専務理事 山田 久 様



◆行政と民間事業者が「官民対話」を行っていく上で、両者が当然知っておかなければならない、基本的な法律・行政通知の解釈の仕方やその考え方など、一般廃棄物処理計画の重要性などにも触れながら講義いただいた。